

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (小学校) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE4391 SJTC4576
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を適宜利用する	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	○教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 ○該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、小学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	教職実践演習 (小学校) は、本学の教員養成に必要な「理論と実践」の融合を目指す科目として設定されている。これまでの学習を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する科目である。 この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを期待して実施される科目である。		
8. 学習目標	教員として求められる資質・能力の形成に関して、以下の目標を設定し、達成することができる。 ① 職務遂行に必要な使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項を再確認する。 ② 社会性や対人関係能力に関する事項の発揮に関しての再確認をする。 ③ 実習等で得られた幼児・児童・生徒理解の仕方や学級経営の在り方等に関する事項の再確認をする。 ④ 教科・領域等教育課程の実施に当たっての指導力・実践力に関する事項の再確認をする。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	① 毎回、授業の最後にリアクションペーパーを提出する。 ② 期末試験は行わず、期末レポート (1,000字程度) を提出する。 この科目の学修には、上記①と②の提出及び毎回の授業への積極的な参加が必須である。欠席 (公休も含む) した場合には、授業の資料を熟読して次回までに200字程度のコメントを提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】駒井隆治『管理職が添削する「通知表“所見の言葉”』』明治図書、2013 【参考書】文部科学省発行『小学校学習指導要領「総則編」』 この他、授業内で参考書等を知らせる。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 30% レポート課題 40% 日常の学習状況 30%		
12. 受講生へのメッセージ	この授業では、学校現場で直面するリアルな課題に対応する演習を行う。毎回のテーマにかかわる知識・技能を身につけて学校現場で即対応できるように真剣かつ自発的に学修を進めてほしい。		
13. オフィスアワー	初回講義で連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	○「目指す教師像」を描く。教師という存在について考える。	事前学習	「目指す教師像」について考える。
		事後学習	「目指す教師像」に接近するためのマトリックスを作る。
第2回	○教育実習後の課題に向き合い、その解決方法を考える。	事前学習	教育実習後の自己の課題を把握する。
		事後学習	自己の課題の解決策をレポートにまとめる。
第3回	○基本的な教態 (教師の立ち居振る舞い) について学ぶ。	事前学習	児童の前に立つ時の教態について考える。
		事後学習	教態の重要性について理解、まとめる。
第4回	○児童理解及びプロフェッショナルな対応についての事例研究をする。	事前学習	児童を理解することで大切なことは何か考える。
		事後学習	児童理解の認識を深め、プロの対応に学ぶ。
第5回	○学級経営のサクセスストーリーを描く。一学習環境を考える	事前学習	「目指す児童像」から学級経営のポイントを考える。
		事後学習	「学級経営案の素案」を作成する。
第6回	○生徒指導 (生活指導) のいじめ問題の事例研究をする。一ソーシャルスキルを学ぶ。	事前学習	「いじめは、なぜ起きるか」について考えをもつ。
		事後学習	児童の発達を促すソーシャルスキルを研究する。
第7回	○教員に求められるコミュニケーション力について研究する。	事前学習	児童・同僚・保護者への対応策を考える。
		事後学習	学校現場で必要なコミュニケーションの技を磨く。
第8回	○学校以外の人 (地域社会等) とのかかわり方について学ぶ。	事前学習	学校以外の人とかかわる場面を想定する。
		事後学習	教師の社交術について理解する。
第9回	○SDGs をふまえた人権教育の意義と実践例から学ぶ。	事前学習	自己の人権感覚について振り返る。
		事後学習	人権尊重の意識を高め、授業に生かす方法を理解する。
第10回	○新しい学び (ICT 活用の学習) の基本原則と事例を学ぶ。	事前学習	ICT 活用の学習の課題を考える。
		事後学習	ICT 活用の学習の方策を理解する。
第11回	○キャリア教育一ソーシャルキャピタル (人間関係資本) について研究する。	事前学習	キャリア教育とは何か調べる。
		事後学習	ソーシャルキャピタルについて考えをもつ。
第12回	○学校組織のカリキュラム・マネジメントと教師の仕事術について学ぶ。	事前学習	学校の組織運営と分掌の仕事について考える。
		事後学習	組織の一員としての仕事術を理解する。
第13回	○発達障害児への対応の適切な対応について学ぶ。一特別支援教育を理解する。	事前学習	発達障害児について知っていることを書く。
		事後学習	発達障害児に対する適切な対応について理解する。
第14回	○保護者に通知する文書の書き方を学ぶ。一通知表“所見”の書き方を学ぶ。	事前学習	保護者に通知する文書の留意点を考える。
		事後学習	保護者に通知する文書の要諦を理解する。
第15回	○自己啓発の進め方を考える。一越境学習による出会い (セレンディビティ)。	事前学習	自己啓発について考える。
		事後学習	自己を変革する方策を考える。